

介護医療院 視察報告書

報告日) 2023年11月22日(火曜日)

報告者) 金子未幸 PT

視察日時) 2023年11月22日(火曜日) 14:25-16:00

視察施設) 牛尾病院 介護医療院

報告内容

	視察項目	結果	考察・良かった点
1	居室の工夫している点 雰囲気	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全居室に酸素、吸引あり</li> <li>・仕切りは半分可動式(木目調)</li> <li>・ESPよりも居室が広い</li> <li>・居室前に名前あり+花と名前のイラスト →療養病棟の時からあるもの</li> <li>・自動体交マットレス(オスカー)を完備 →購入+レンタル(総数不明)で購入分に関しては常に可動している</li> </ul> ※リハビリスタッフへの聴取: 特にリハビリは関与していない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広く、清潔感がある空間</li> <li>・前居室に酸素・吸引があり、状態が変化した利用者様がいても対応できる</li> <li>・自動体交マットレスにより介護負担の軽減につながる</li> </ul>
2	食堂の工夫している点 雰囲気	<ul style="list-style-type: none"> <li>・固定式テーブル少ない、サイドテーブルが多い →リクライニング車椅子やベッドを食堂に持ってきて、食事を召し上がっているため※固定式テーブルは片付けていた</li> <li>・利用者様のレクの作品が飾ってある</li> <li>・TVをつけていた</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リクライニング車椅子利用の利用者様が多いため、可動できるテーブルの利用は良いと感じた</li> </ul>
3	浴室環境 ※リフト等の福祉用具等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・機械浴(美浴 ストレッチャー)2台、大浴場(温泉と表記あり)、家庭浴 1台</li> <li>・機械浴室広い、脱衣所広い</li> <li>・機械浴室に機械浴が2台あり、ストレッチャーの方が4名入れる</li> <li>・大浴場に階段あり</li> <li>・大浴場の入口に温泉効能の表記あり</li> <li>・シャワーチェア、シャワーキャリーあり</li> <li>・リフトの利用なし</li> <li>・天井近くにヒーターあり</li> </ul> ※リハビリスタッフへの聴取: 入浴練習は対象者がいない。中間浴がないため、座位が保てる利用者様であっても機械浴となってしまう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・清潔感があり、広い空間</li> <li>・機械浴室の空間が広く、収容人数が多い</li> <li>・温泉施設のように効能が記載されており、ゆとり入れるような配慮がある</li> </ul>
4	リハビリ室の工夫している点 雰囲気	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リハビリ室は見学していない</li> </ul> ※リハビリスタッフへの聴取: ほぼ病棟でリハビリ実施。平行棒のみ使用する事がある。感染対策実施。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・なし</li> </ul>

	視察項目	結果	考察・良かった点
5	リハビリ物品 ※筋トレマシン、物療等	・リハビリ室は見学していない ・座面クッション 15～20 台 防水のもの	・なし
6	リハビリスタッフの一日の動き	・大まかな流れ：全体朝礼→各フロア申し送り→リハビリ→終礼	・エスペーロと大差なし
7	利用者様の雰囲気 一日の過ごし方 ※離床しているか	・食事またはリハビリの時に離床 ・伺った時間（15:00 頃）で離床している利用者は少ない ・ほとんどの方がベッド上で過ごされている ※リハビリスタッフへの聴取：多職種で離床をすすめている	・離床されている利用者様が少なく、静かな雰囲気 ・利用者様の活動性は少ない印象
8	レクリエーション※どこで、どのようなことを、介護度に応じて？	・誕生日会、クリスマス会、七夕を実施 ・リハビリの取り組みでレク実施 →週 1 回映画鑑賞実施（食堂で） →集団リハで介護度に応じて実施（散歩、歌）	・週 1 ではあるが定期的に離床が図れている ・リハビリの取り組みだけでなく、多職種で関わる必要がある
9	面会スペース	・居室または食堂でパーテーション越しに面会 ・1 回 10 分程度	・大きなパーテーション越しにご家族に会え、リモートよりもご家族を近く感じられる

#### 事前質問に対する回答

	質問内容	回答
1	リハスタッフの人員数、常勤非常勤を含めた常勤換算での人数	・常勤換算は不明で実人数のみ ・PT（3）、OT（1）、ST（1）、Ns（15）、看護助手（2）、介護士（17）、相談員（1※兼務）、施設 CM（1※兼務）、管理栄養士（1）、事務職（1※兼務）
2	リハの算定項目	理学療法、作業療法、言語聴覚療法に関わる加算
3	リハ訓練の実施時間	20 分/1 単位
4	リハ訓練の内容	ベッド上リハがメイン：関節可動域練習、呼吸リハ、リラクゼーション、車椅子乗車
5	言語聴覚療法は実施しているか。それぞれのどのような内容をどの職種が行っているか。	ST が実施している コミュニケーション手段の獲得、摂食嚥下
6	集団コミュニケーション療法は実施しているか。それぞれのどのような内容をどの職種が行っているか。	実施していない
7	摂食機能療法は実施しているか。それぞれのどのような内容をどの職種が行っているか。	ST が実施している
8	移乗介助にリフトを使用しているか。または、他の福祉機器を導入しているか	リフト利用なし トランスファーボード、トランスファーシート（ラクラックス）
9	入所者が使用する車椅子のうち、ティルト型車椅子、またはリクライニング型車椅子などの特殊型車椅子は何台用意しているか	ティルト型車椅子 32 台 メーカー：タヒラ リクライニング型車椅子 1 台 メーカー：タヒラ 普通型車椅子 8 台 メーカー：タヒラ ※ほぼ使用していない

## 全体を通じた感想

理想像・よかった点・ESP で実施できること

- ・60 床に対して リハビリ職が 5 名。
- ・移乗は、介助量が多い利用者様に対してもトランスファーシートで十分とのことだった。離床機会が少なく、入浴時はストレッチャーでの移動がメインであった。
- ・リハスタッフが積極的にレクに参加しているが、個々に合わせたリハビリも必要ではないかと感じた。

以上

<写真>

居室



食堂



廊下



浴室



